

## 1 1 久留米市保育士・保育所支援センター

久留米市保育士・保育所支援センター（以下センター）は平成 25 年 4 月 1 日に開設し、無料職業紹介所としての業務は平成 26 年 7 月 15 日に開始した。久留米市子ども未来部児童保育課（以下保育課）内に設置し、市の直営として運営している。月曜日～金曜日の 8 時 30 分～17 時 15 分を開所時間とし、センターの職員は 1 人である。

### 1 センターの取組内容

センターの業務内容は求職相談、就職のあっせん、現職保育士や保育士資格取得希望者からの相談対応、求人に関する保育所からの相談対応、市内認可保育所の求人情報提供である。平成 26 年 11 月に保育士就職支援セミナーを実施した。

#### (1) 広報活動

久留米市内の認可保育所における求人・求職情報を取り扱うに当たり、市内の広報周知に注力している。センター開設時期に集中して取り組み、市広報誌への掲載のほか、保育士養成施設へ訪問し周知活動を依頼した。

- ① 「広報くるめ」掲載 平成 25 年 5 月 15 日号、平成 26 年 7 月 15 日号

- ② 「西日本新聞」掲載 平成 25 年 7 月 15 日

- ③ 保育士養成施設訪問 平成 25 年 5 月 24 日・28 日、6 月 11 日

センター開設時と無料職業紹介事業の開始に伴う周知に加え、③は市内の養成施設 2 校（信愛女学院短期大学・久留米大学）と市外 3 校に訪問し、センターに関する広報周知を行った。

#### (2) 求職・求人登録

センター利用に際しての求職・求人登録（保育士）は求職票と求人票の提出を必要とする。センターの窓口に設置しているが、ホームページからダウンロードし、記入の上、FAX、郵送等での申込みも可能である。求人登録は 19 の事業所が 54 人の求人を募集している（平成 26 年 12 月時点）。内訳は正規職員 3 人、非正規職員 51 人であり、ホームページ上で求人情報の詳細を公表している。非正規職員は、常勤 32 人、非常勤 19 人と雇用形態が細分化しており、契約期間や勤務時間、福利厚生などの条件を比較することができる。求人票の提出は事業所から FAX による紙媒体での提出を主とし、誤記のないように努めている。

### (3) 保育士就職支援セミナーの実施

保育士就職支援セミナーは平成 26 年 11 月 30 日に開催した。対象は保育士有資格者、保育士資格取得予定者（登録申請中、養成施設卒業予定者）であり、セミナー内容は保育所の現状等の講話、公立保育所に勤務 2 年目の現役保育士による経験談があった。講師は児童保育課職員、民間保育所所長が担当した。セミナーでは保育所の見学に関する申込も受け付けており、市内の認可保育所の見学申込を 2 ヶ所まで申請することができる。なお、セミナーの後半ではセンターの事業内容を説明し、求職登録を募る時間を設けており、セミナー参加者をセンターの利用者として確保するための運営上の工夫がなされている。事前申込による託児が実施され、3 人の参加者（4 人の児童）が利用した。

#### 【保育士就職支援セミナープログラム 平成26年11月30日(日)開催】

| 時 間         | 内 容                                   | 参加人数 |
|-------------|---------------------------------------|------|
| 13:00～13:40 | 現在の保育事情と今後の動向                         | 9人   |
| 13:40～14:10 | 保育現場の今(保育所の仕事内容)                      |      |
| 14:20～14:50 | 保育所に就職して(保育士経験談)                      |      |
| 14:50～15:00 | 保育所見学受付                               |      |
| 15:00～15:30 | 保育士・保育所支援センター紹介、求人紹介・求職登録・就職相談・就職あっせん |      |

## 2 センター運営の特徴・工夫点

センターを運営する保育課が担当する研修はセンター業務を補完する保育士対象の講座研修である。市内公立・私立の保育所所長と主任、児童保育課で構成している久留米市保育所連盟研修推進委員会が企画、実施している講座研修は基本研修、専門研修、課題研修をテーマ別に開催し、30 年以上にわたり継続開催している。保育課職員が講師を務めた保育リーダー対

【(参考)職員間のチームワークと保護者支援（講師 子ども未来部保育課職員）平成26年9月実施内容 一部抜粋】

|          |                |                                  |
|----------|----------------|----------------------------------|
| 主任保育士の業務 | 人間関係の構築に関わる業務  | 臨時職員との関係                         |
|          |                | 年上の保育士への声かけ・アドバイス                |
|          |                | 若い保育士への指導と関係づくり                  |
|          | 保育・保育士に直接関わる業務 | ゆとり世代 ほめられて育つ保育計画にそった保育の実施       |
|          |                | 連絡・相談・報告                         |
|          |                | マニュアル作成 保育の一貫性や継続性を根拠を含め伝える      |
| 研修       | 事 務            | 記録の簡素化(久留米市保育要領)                 |
|          |                | 自己評価の書き方                         |
| めざす保育士像  | 保 育            | 主任保育士としての資質向上 積極性                |
|          |                | 一人ひとりの乳幼児と保護者の気持ちを受けとめ、発達を配慮した保育 |
|          |                | 保育所職員のチームワーク                     |
|          |                | 苦 情                              |

象の研修では、「職員間のチームワークと保護者支援」と題し、主任保育士の業務と職員間の人間関係や苦情対応を含む保護者支援について講話した。離職や休職による潜在保育士の増加に伴い、保育所の運営に支障を来している状況下にあって、処遇改善とは異なるアプローチで職場環境の改善を推進する研修を行っている。センター事業には含まれていない研修運営だが、市と保育団体の協力関係が円滑に進む一助になっている。今後はセンター事業との連携を進め、更なるセンター利用の勧奨により、登録数の増加が見込まれる。

### 3 センター運営の実績

センター運営の実績として、ホームページに記載してある求人情報を利用し、求職者が直接保育所に応募して採用されたのが3人である。この時点では求職者登録制（職業紹介事業）を開始しておらず、開始後はセンターのあっせんにより、1人が採用されている。また相談件数の成果は表のとおりである。

【問い合わせ状況】 平成26年12月12日時点

| 相談・問い合わせ元    | 件数  |
|--------------|-----|
| 求職者          | 91  |
| 求人者(保育園)     | 7   |
| 現役保育士        | 3   |
| その他(指定養成施設等) | 12  |
| 計            | 113 |

### 4 センター運営の課題

センターの運営に際しての課題は、広報の実施が限定的になり、センターの周知が徹底されていない点である。市役所ホームページの「保育所求人情報」のアクセス件数は増加しているが、求職・求人登録の増加に至っていないのが実情である。就職・復職に関心を持っている保育士有資格者を就業に結びつけるために、保育士就職支援セミナーの継続的な実施や他機関との連携が必要である。